

科目コード	ナンバリング	単位数	学期	授業区分	科目区分	履修区分	配当学年	
22000	X-13/33-B-1-220007	2	後期	【1年次生】国際学部国際文化学科	×	×	×	
				【1年次生】国際学部国際文化学科英語集中コース				
授業科目	担当教員			【2年次生以上】国際学部国際文化学科	×	×	×	×
				【2年次生以上】国際学部国際文化学科英語集中コース	×	×	×	×
				【1年次生】経営情報学部経営学科	×	×	×	×
				【1年次生】経営情報学部情報システム学科				
				【3年次生以上】情報文化学部情報システム学科経営コース				
コンピュータシステム	西山 茂			【3年次生以上】情報文化学部情報システム学科情報コース	専門	必修	1年	

#### 授業目的

ITの主役の1つであるコンピュータシステムの動作原理の基本知識を獲得することは、現代ビジネスを円滑に進めるための必要である。この観点から本授業ではコンピュータ全体とその構成要素について学習する。具体的には、コンピュータ上で使う情報の表現、入出力装置、主記憶、演算、制御などの基本装置を学習する。

本授業は、以下のディプロマポリシーに関連する。

<情報技術の利活用方法を修得し、仕事や生活に活用できること。>

<情報システム学について理解し、情報システム領域の基本的な専門技術を修得していること。>

#### 各回毎の授業内容

<b>第1回</b> 【授】コンピュータの役割 【前・後】教科書、事前配布資料の予・復習（予習に3時間、復習に1時間）	<b>第9回</b> 【授】ファイル内データ表現 【前・後】教科書、事前配布資料の予・復習（予習に3時間、復習に1時間）
<b>第2回</b> 【授】コンピュータ内部の情報処理方法（論理演算） 【前・後】教科書、事前配布資料の予・復習（予習に3時間、復習に1時間）	<b>第10回</b> 【授】プログラム（ソフトウェア）実行環境 【前・後】教科書、事前配布資料の予・復習（予習に3時間、復習に1時間）
<b>第3回</b> 【授】コンピュータアーキテクチャとCPUアーキテクチャ 【前・後】教科書、事前配布資料の予・復習（予習に3時間、復習に1時間）	<b>第11回</b> 【授】プログラム実行形式 【前・後】教科書、事前配布資料の予・復習（予習に3時間、復習に1時間）
<b>第4回</b> 【授】コンピュータ内部のデータ表現：2進数 【前・後】教科書、事前配布資料の予・復習（予習に3時間、復習に1時間）	<b>第12回</b> 【授】OSとアプリケーションソフトウェア 【前・後】教科書、事前配布資料の予・復習（予習に3時間、復習に1時間）
<b>第5回</b> 【授】データ表現：10進数から2進数、16進数への変換 【前・後】教科書、事前配布資料の予・復習（予習に3時間、復習に1時間）	<b>第13回</b> 【授】プログラムの動作原理 【前・後】教科書、事前配布資料の予・復習（予習に3時間、復習に1時間）
<b>第6回</b> 【授】コンピュータ内部のデータ表現：浮動小数点数、文字表現 【前・後】教科書、事前配布資料の予・復習（予習に3時間、復習に1時間）	<b>第14回</b> 【授】コンピュータの利用法（1） 【前・後】教科書、事前配布資料の予・復習（予習に3時間、復習に1時間）
<b>第7回</b> 【授】コンピュータメモリ 【前・後】教科書、事前配布資料の予・復習（予習に3時間、復習に1時間）	<b>第15回</b> 【授】コンピュータの利用法（2） 【前・後】教科書、事前配布資料の予・復習（予習に3時間、復習に1時間）
<b>第8回</b> 【授】外部メモリと外部装置 【前・後】教科書、事前配布資料の予・復習（予習に3時間、復習に1時間）	<b>第16回</b> 【授】定期試験 【前・後】教科書、事前配布資料の復習（復習に4時間以上）

#### 成績評価方法

	知識・理解	思考・判断	関心・意欲	強調・指導力	発表・表現	その他	評価割合(%)
定期試験							
小テスト・授業内レポート							
宿題・授業外レポート							
授業態度・授業への参加							
成果発表（口頭・実技）							
演習							
その他							

概ね以下のように評価する

- ・成績は期末試験（80%）と自己学習によるレポート課題（20%）により評価する。
- ・レポート課題は15回中で4回程度課する。時期は事前には指定しない。
- ・試験問題は、教科書、授業内配布資料、授業で使用するスライドなどから出題する。

<フィードバック法>

- ・授業中の小テストなどは、授業時間内で答え合わせをする
- ・定期テストは、ポータルの授業連絡機能により、試験結果の全体講評を履修生全員に伝える

#### 教科書参考書

- ・教科書 プログラムはなぜ動くのか  
矢沢久雄著、日経ソフトウェア監修、日経BP社
- ・参考文献 随時紹介する。

#### 受講に当たっての留意事項

- ・情報システム学科の情報指向、経営指向いずれの学生でも身に付けておくべき基礎教養である。
- ・各回は関連性が深い。欠席はできるだけ避けること。

#### 学習到達目標

概ね以下のような目標を設定する。

- ・コンピュータ仕組みを理解する（試験20%、レポート10%）。
- ・コンピュータがなぜ動作するのかを理解する（試験20%、レポート5%）。
- ・ソフトウェアがなぜ動作するのかを理解する（試験20%、レポート5%）。
- ・コンピュータの適切な利用法を理解する（試験20%、レポート10%）。

JABEE

関連する学習・教育到達目標：E

【授】：授業内容【前・後】：事前・事後学習